

街中では綺麗なイルミネーションが光り、忘年会やクリスマスのお話が出始めると、いよいよ年の瀬も押し迫ってきたと感ずますね。それぞれのご家庭にいるサンタさんは、もうプレゼントの準備はお済みでしょうか。



この時期、保育園では専らクリスマスのお話が多くなり、プレゼントについて尋ねると、どの子ども目も輝かせてニコニコしてくれます。子ども達は、自分達で作った可愛いサンタさんやツリー、リースなどが飾られたお部屋で、毎日のようにクリスマスソングを歌っています。サンタさんをお迎えする準備は十分に整っていますので、あとはサンタさんが来るまで指折り数えるばかりです。

このような光景を見るといつも考えるのですが、サンタさんを心から信じているのは何歳くらいまでなのでしょう。感覚的には小学校の中学年あたりが境目な気がしますが、周りのお友だちから真実を告げられたり、保護者の方が白状したりするケースが多いかと思いますが、いずれにしても就学前のこの子ども達は完全に信じています。夢を信じる純粋な気持ちはできるだけ長く持ち続けて欲しいと思います。

大人は仕事納めに向けてカウントダウンしがちですが、その前にやってくる大仕事がありますので、ぜひ夢のある演出で盛り上がるよう、がんばってくださいね。

<トピックス> クリスマスの飾り付け



子どもたちが協力してクリスマスツリーの飾り付けをしてくれました。高い所は届かないので一生懸命背伸びしている姿や、抱っこしてもらって手を伸ばしている姿がとてもかわいかったです。子どもたちのお部屋にもかわいらしい飾りがたくさんあり、サンタさんをお迎えする準備は万端です。



お餅つき会

みんなでお餅つきを行いました。初めは見慣れた真っ白なお米でしたが、よいしょ〜！よいしょ〜！とみんなでつくつくと、びよ〜んと伸びる、おいしそうなお餅になりました。つくたてのお餅で大きな鏡餅を1つ、余ったおもちで小さな鏡餅をたくさん作りました。





子育てワンポイント!



甘えることは、“困っているときにいつでも自分を助けてくれる人がいる” 確認・信頼関係の基礎作りで、わがママが言えるということは自分の気持ちを言葉で表現する＝正しい自己主張の練習です。

甘えたい気持ちを、「ダメ」「自分でやって」とずっと拒否されていた子は、自分にも厳しく、心から人を信じることができなくなってしまうこともあります。わがママを受け止めてもらえなかった子は、自分の気持ちを隠して人の顔色ばかりうかがい、良い事、悪い事が判断できない人になってしまうこともあります。例を挙げて、具体的な対応を考えてみましょう。



例1・・・忙しい時に抱っこをせがむ

今?と思うようなタイミングの時は「待っててね」と声をかけ、できるだけ早く手が空く時間を作り、ぎゅーっと抱きしめてあげましょう。「かわいい」「大好き」「幸せ」などの言葉が添えられると百点満点です。いつも「いいよ」と言われていると、抱っこの時間が短くても満足します。子どもの心が安心感で満たされることで、自分でやってみようという意識が育ち、自立への近道になります。



例2・・・何に対しても「嫌だ!」と言う

幼児期の「嫌だ!」はいわゆる第一次反抗期で、自分の意思が出てきた証拠です。何がどう嫌なのか聞いたり汲み取ったりして「嫌なんだね」と受け止めてあげましょう。ただし、命にかかわることや社会のルールとして良くないことは厳しくしっかりと教えていきましょう。



増改築工事のお知らせ

田無北原保育園では、今秋から年度内にかけて、園舎の増改築工事を行っております。ご近所の皆様方にはご迷惑をおかけいたしますが、より安全な保育事業を行うため、ご理解いただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。なお、工事期間中は、園庭開放はいたしませんので併せてご了承ください。

工事期間：平成29年9月～平成30年3月（予定）

アクセスMAP（駐車場はありません）



西武新宿線「田無駅」または西武池袋線「ひばりヶ丘駅」からバス「北原二丁目」停留所より徒歩1分

お問い合わせ Tel : 042-467-8080

URL : <http://kitahara-ns.org/>

田無北原保育園 検索

==== 社会福祉法人 大誠会 ====
田無北原保育園（私立認可園）
田無保育園（公立園運営受託）